



2024年4月1日発行

安全データシート (SDS : Safety Data Sheet)

1. 化学品及び会社情報

化学品の用途、名称 : 人造大理石トップの連結 グループ 3 (ブラックストーン、ブラウンストーン)、接着剤セット 主剤 A 剤

供給者の会社名称 : 株式会社 LIXIL

住所 : 東京都品川区西品川一丁目 1 番 1 号

電話番号 : 0570-090-521

項目 2 以降は、2 頁以降を参照

安全データシート

(SAFETY DATA SHEET)

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	ラピッド [®] シーム接着剤 A成分
推奨用途及び使用上の制限	接着剤の主剤
会社名	株式会社エービーシー商会
住所	東京都千代田区永田町2-12-14
担当部門	デザインマテリアル事業部
電話番号	03-3507-7158
FAX番号	03-3581-4939

作成 2006年4月1日

改訂 2024年4月1日

整理番号 RAP-013

2. 危険物有害性の要約

GHS分類 (メタクリル酸メチルとして)

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷

眼刺激性 : 区分2A

呼吸器感作性 : 区分1B

皮膚感作性 : 区分1B

生殖毒性 : 区分2

特定標的臓器/全身毒性

(単回暴露) : 区分3

特定標的臓器/全身毒性

(反復暴露) : 区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性): 区分3

※記載がないものは分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素

【絵表示】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

- ・引火性の高い液体および蒸気
- ・皮膚刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・強い眼刺激
- ・吸入するとアレルギー喘息、または呼吸困難を起こすおそれ
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・眠気またはめまいのおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害
- ・水生生物に有害

注意書き

【予防策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地すること/アースをとること。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 取扱後はよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 保護手袋を着用すること。
 指定された個人用保護具を使用すること。

【対応】

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師に連絡する。
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
 特別な処置が必要である
 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。
 火災の場合：消火に消火に粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂を使用すること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 施錠して保管すること。

【廃棄】

・内容物／容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成, 成分情報

[物質の特定] 単一製品・混合物の区別：混合物

化学名	アクリル樹脂	メタクリル酸メチル	水酸化アルミニウム
含有量(%)	25～35%	45～60%	5～25%
化学式	$[\text{CH}_2=\text{C}(\text{CH}_3)(\text{COOCH}_3)]_n$	$\text{CH}_2=\text{C}(\text{CH}_3)\text{COOCH}_3$	$\text{Al}(\text{OH})_3$
官報公示整理番号	6-524	2-1036	1-17
CAS No.	9011-14-7	80-62-6	21645-51-2
国連分類	記載なし	クラス3 引火性液体	記載なし
国連番号	記載なし	1247	記載なし

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに、清浄な大量の水で最低20分以上洗い流す。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
 その後も洗浄を続ける。
 目の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 直ちに石鹼と水で洗い流す。
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。
 汚れた衣類は洗濯後着用する。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせない。直ちに水を数杯飲ませる。もしくは専門医の手当てを受ける。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。
 アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ。
- 応急措置をする者の保護 : 皮膚への接触で皮膚炎が悪化する可能性がある。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水、ハロゲン化消火器
 水噴霧は、火にさらされた容器を涼しく保つために使用される場合がある。
- 消火を行う者の保護 : 火災の場合は、全面陽圧自給式呼吸器と防護服を着用すること。
 水噴霧で容器を冷やすこと。

化学物質から生じる特定の危険性

:重合は、高温、酸化剤、過酸化物、または日光によって引き起こされる可能性がある。
 蒸気は表面に沿って流れ、遠くの発火源に流れて逆流する可能性がある。
 密閉された容器は、加熱すると破裂する可能性があります。静電気放電に敏感。
 火災時には、熱分解または熱分解によって刺激性で毒性の高いガスが発生する可能性がある。
 引火点を超えると、蒸気と空気の混合物は、9項(物理的および化学的性質)を参照。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急措置

:すべての発火源から遠ざけること。
 洗浄が終わるまでは立ち入りを禁止する。
 作業者は「8. ばく露防止及び保護措置」記載の適切な保護具(化学保護衣、有機ガス及び蒸気用フィルター付マスク等)
 を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
 安全であれば、漏れを止めるか減らすこと。
 可能であれば、こぼれた場所を換気する。
 清掃は、訓練を受けた担当者のみが実施すること。
 漏出物に触らないこと。
 緊急用機器(火災、流出、漏れなど)をすぐに利用できるようにする。
 適切な政府、労働安全衛生および環境当局に通知する。

環境に対する注意事項

:材料が下水道や水路に入るのを防ぐ。
 適切な政府、労働安全衛生および環境当局に通知する。

封じ込め及び浄化の
方法及び機材

:少量の場合
 こぼれたものを吸収性材料(砂またはその他の不燃性吸着剤)で吸収する。
 適切な、覆われた、適切にラベル付けされた容器に残留物を置くこと。
 患部を洗うこと。
 多量の場合
 溝を掘ったり、堤防を掘ったりして、吸収材を使用して液体を封じ込める。
 適切に処分するために、回収または回収ドラムまたはタンクローリーに回収する。
 汚染された表面を水または水性洗浄剤で洗浄する。
 セクション13(廃棄に関する考慮事項)に示されている規制に従って材料を廃棄すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱い注意事項 : 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること／アースをとること。

防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

充填、取り出し、取扱い時に圧縮空気を使用してはならない。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

呼吸用保護具を使用すること。

接触回避 : 「10. 安全性及び反応性」を参照。

衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件 : 耐火設備で保管する。

直射日光を避ける

安定化した状態でのみ貯蔵する。

換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 未設定

許容濃度 : メタクリル酸メチル

日本産衛学会 : TLV-TWA: 50 ppm、205 mg/m³

TLV-STEL: 100 ppm、410 mg/m³

設備対策 : 一般的な換気を使用する。空中ミストを制御するために必要な場合は、局所排気装置を使用する。

限られたスペースの場合は機械的換気を行なう。

一般的 : 個人用保護具の使用と選択は、製品の危険性、職場、および製品の取り扱い方法に関連する。

職場と製品の取り扱い方法。一般的に、最小限の予防策として推奨。

一般的には、最低限の予防策として、腕、脚、体を保護するサイドシールド付きの安全メガネと作業服を

することを推奨。

さらに、この製品を取り扱う場所を訪れる人は、少なくともサイドシールド付きの保護メガネを着用する必要である。

呼吸用保護具 : 空気中の濃度がこのセクションに記載されている制限を超える可能性がある場合は、ハーフフェイスフィルターマスクまたは空気供給呼吸装置を使用する。

重大なミスト、蒸気、またはエアロゾルが発生する場合は、承認された呼吸器を使用すること。

適切なフィルター材料は、取り扱う化学物質の量と種類によって異なる。

目の保護具 : この製品を取り扱う際は、スプラッシュケミカルゴーグルの使用を推奨。

目を洗い続けること。

手の保護具 : MMAはゴムラテックス手袋に簡単に浸透する。MMA樹脂に対してはポリエチレン製の保護手袋が最良である。

手袋は定期的に交換すること。

皮膚及び身体の保護具 : この製品を取り扱う際は、耐薬品性のスーツの使用を推奨。

安全シャワーを使用できるようにしておくこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 液体(ペースト状)
色	: 各種
臭い	: 特有
臭いの閾値	: 0.05~0.34ppm
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範	: 101°C
引火点	: 10°C
蒸発速度	: 3.1(酢酸ブチル=1)
燃焼性(固体、気体)	: データなし
燃焼又は爆発範囲	: 上限: 12.5% 下限: 1.7%
蒸気圧	: 29mmHg(20°C)
蒸気密度	: 3.5
比重(相対密度)	: 1.10~1.15(25°C)
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係	: 1.38
自然発火温度	: 421°C
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	: 15000~20000 cps(25°C)

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性 : 抑制されたメチルメタクリレートは、限られた保管期間、室温で安定している。

蒸気は抑制されておらず、ベント内でポリマーを形成する可能性がある。

重合は高温、酸化剤、過酸化剤、または日光によって引き起こされる可能性がある。

危険有害反応性 : 光、熱、酸化剤によりすぐに重合を起こす。もし重合が容器内で起こった場合、爆発する可能性がある。

避けるべき条件	: 混触危険物質、熱、炎及び添加剤
混触危険物質	: 重合触媒(過酸化物質、過流酸塩など)、硝酸、酸化剤、アンモニアやアミンなどの物質、ハロゲン及びハロゲン化合物
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

経口

メタクリル酸メチル
:LD50(rat):7872mg/kg
水酸化アルミニウム
:LD50(rat):>5000mg/kg

経皮

メタクリル酸メチル
:LD50(rabbit):>5000mg/kg

吸入(蒸気)

メタクリル酸メチル
:LD50(rat 4h):>78mg/L

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

メタクリル酸メチル
: 0.5ml(rabbit), 4h, 適度な刺激性

眼に対する重篤な損傷性

メタクリル酸メチル
: rabbit 適度な刺激性

皮膚感作性

メタクリル酸メチル
: 皮膚感作(モルモット):感作
長時間または頻繁に繰り返される皮膚接触は一部の人にアレルギーを引き起こす可能性がある。
製品のミストまたは蒸気の吸入は一部の人に呼吸器アレルギーを引き起こす可能性がある。

発がん性

メタクリル酸メチル
: IARCは区分3、ACGIHは区分4とされ、共に人間への発がん性はないと分類される。

変異原性

:いくつかの変異原性に基づいて変異原性を引き起こす可能性は低い。
Salmonella typhimurium逆突然変異アッセイ:10~10000 ug/ plate(+S9)、結果:負。

生殖毒性

メタクリル酸メチル
: 実験室で催奇形性の影響(母体毒性、胎児毒性)を引き起こす。

特定標的臓器毒性

(単回ばく露)

メタクリル酸メチル
:呼吸器への刺激や麻薬の影響を引き起こす可能性がある。

特定標的臓器毒性

(反復ばく露)

メタクリル酸メチル
:長時間または繰り返し暴露すると、呼吸器系および中枢神経系に損傷を与える。

吸引の危険性

:データなし

その他

:データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類に対する急性毒性

: メタクリル酸メチル	LC50(Lepomis macrochirus):191mg/l
	LC50(Oncorhynchus mykiss):>79mg/l
: 水酸化アルミニウム	LC50(Salmo trutta,96h):>100mg/l

無脊椎動物に対する急性毒性

- : メタクリル酸メチル EC50(Daphnia magna, 48h):69mg/l
- : 水酸化アルミニウム EC50(Salmo trutta,48h):>100mg/l

藻類/水生植物に対する急性毒性

- : メタクリル酸メチル EC50(Scenedesmus quadricauda, 96h): 170mg/l
- : 水酸化アルミニウム EC50(Selenastrum capricornutum, 72h): >100mg/l

慢性毒性

- 魚類に対する慢性毒性 : データなし
- 無脊椎動物に対する慢性毒性 : データなし
- 藻類/水生植物に対する慢性毒性 : データなし

残留性・分解性

- : メタクリル酸メチル 生分解性 (ばく露時間:28d) 88%

- 生態蓄積性 : メタクリル酸メチル BCF 2.2350
- : 水酸化アルミニウム BCF 3.162

土壌中の移動性

- : メタクリル酸メチル 土壌にMMAが放出された場合、MMAはすぐに蒸発すると考えられる。

他の有害影響

- : メタクリル酸メチル データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際民間航空機関 (ICAO)

国連番号 : 1133 クラス3

国連品名 ADHESIVES containing flammable liquid

国連危険有害性クラス

容器等級 : II

15. 適用法令

化審法 : 旧第2種監視化学物質 (旧法第2条第5項)

化学名: メタクリル酸メチル 濃度又は濃度範囲: 45~60%

労働安全衛生法 : 危険物・引火性の物 (施行令別表第1第4号)

: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

: 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

: 皮膚等障害化学物質 (施行令別表第3第1号)

化学名: メタクリル酸メチル 濃度又は濃度範囲: 45~60%

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	:第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
	化学名:メタクリル酸メチル 濃度又は濃度範囲:45~60%
消防法	:可燃性固体(引火性固体)(法第2条第7項危険物第2類)
航空法	:引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
船舶安全法	:引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
大気汚染防止法	:有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)

16. その他の情報

記載事項の問い合わせ先:株式会社エービーシー商会 デザインマテリアル事業部

TEL 03-3507-7158

本製品の安全データシートは当社の製品を安全に使用して頂くために、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたものです。

本製品の適正な使用については使用者の責任において行って下さい。